



題 字  
初代会長 松 野 盛 吉

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋 田 県 消 防 協 会  
会長 樋 渡 徹  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>

2025年度全国統一防火標語  
急ぐ日も  
足止め火を止め  
準備よし

## 令和7年度 全県消防団長研修会

令和7年度全県消防団長研修会が10月17日(金)、イヤタカ(秋田市)において、消防団長など消防関係者約50名が参加し開催されました。

これまでの研修会では、日本消防協会から派遣された講師による講演と講師との対面で意見交換を行っていましたが、今回は趣向を変えて、



参加者が自由に意見を交わし、課題の共有とお互いの考えを理解し合うワールドカフェを行いました。

初めに、阿部一彦副会長が、本県の団員減少の現状と将来予測について説明しました。その後、3グループに分かれて指定されたテーマについての議論と発表をメンバーを入れ替えながら行いました。各グループとも活発な議論が行われ、各地域の取り組みや多様な考え方を理解できて有意義な会議になりました。



### ■議論のテーマ

- ① 消防団員の確保・定着
- ② 災害多発時代の消防団の役割と体制強化
- ③ 地域における消防団の再構築
- ④ 消防団長としてのリーダーシップと組織運営
- ⑤ 消防団活動と本業・私生活の両立支援
- ⑥ 訓練大会のあり方(現状と方向性)
- ⑦ 消防団運営上の問題点

### ■発表(抜粋)

#### グループ1 テーマ⑦

・被雇用者率が高くなっており、日中の災害に対応するためには経営者だけでなく現場の上司の理解が不可欠。北秋田市では、団員が多い100社程度に毎年消防長と団長が訪問し、御礼と勧誘に対する協力をお願いしている。

・由利本荘市では、20代の女性団員が増えていて、それに伴い若い男性団員の入団も見られるので、若い人たちが同世代に声を掛けて入団に繋げるのが効果的。

・幹部が誘うより、同世代が勧誘して一緒に活動しやすい環境を作ることが大切。

#### グループ2 テーマ②

・自主防災組織との連携強化が必要。火災時は水利確保が重要。地元の人には知っているが近隣の班や団体は現地を知らない。

・最近の被害に対応するため使用頻度の高い工法を選んで団員に教えている。突発時に団員が行動できるように基本的知識の教育が必要。少人数の分団には、事前にどこがバックアップに入るか決めておいて、スムーズに機能するようにしておくことが必要。



## 東北地区消防連絡協議会

### が開催されました

令和 7 年度東北地区消防連絡協議会は 11 月 20 日 (木)、新潟県十日町市「あてま高原リゾートベルナティオ」を会場に、東北地区 7 県 (新潟県含む) の消防協会から会長、副会長、事務局員ら 50 名が出席して開催されました。

会議では、各県が提出した要望事項や照会事項について協議し、福島県提出の「全国女性消防団員活性化大会の日程について」を日本消防協会に要望することとしました。

また、来年度は山形県で開催することが決まりました。



## 照会事項 (抜粋)

### ■ 分団の合併におけるメリットと円滑化の工夫について 《青森県》

団員の減少に伴い、本県では分団の合併を進めたい自治体が増えていく。合併を円滑に進めるためには、管理側・団員側双方に納得感やメリットを示すことが重要。各自自治体における工夫や成功事例、メリットをご教示願いたい。

### 【秋田県の場合】 (メリット)

- ・ 消防資機材管理の負担軽減
- ・ 組織運営の効率化、消火技能等の共有がしやすい。
- ・ 管轄区域が広域となり、入団勧誘がしやすくなる。

### 《円滑化の工夫》

- ・ 丁寧な説明を重ね分団間の交流が促進され降格人事に理解を得られた事例や、同格の独自階級を設け降格しないという消防団もあった。

### 【新潟県の場合】 (メリット)

- ・ 団員数増加による団員の負担軽減
- ・ 消防器具置場、消防車輛、資機材等の維持管理の負担軽減経費削減
- 《円滑化の工夫》

- ・ 団員自身で検討・実行・改善すること、団員自身のモチベーション向上を図っている。

## ■ 各種表彰の徽章 (バッジ) 贈与について 《宮城県》

徽章は県独自のデザインで受注生産のため価格は上昇し、製作業者も減少している。現状のまま贈与を継続するためには、他事業の予算削減が必要で困難な状況である。特に在職年数に応じて贈与する徽章については、岐路に立っていると感じる。各県の状況をお聞かせ願いたい。

### 【青森県の場合】

- ・ 表彰や徽章を絶対変えられないものとして定期的に捉えるのではなく、時代や団員の意識に即した形を模索することが重要。より適切な在り方について検討したい。

### 【岩手県の場合】

- ・ 現在のところ、徽章の贈与の見直しや代替品についての検討は行っていない。

### 【福島県の場合】

- ・ 現在のところ、見直しや代替品の予定はない。

### 【新潟県の場合】

- ・ 物価上昇は徽章だけではなく、他事業も縮小や削減を迫られている状況。協会事業を継続していくためには、徽章の贈与を廃止し表彰状のみの授与も検討しなければならぬと考える。表彰は、消防職団員への敬意の証であるが、団員の意識変化、徽章の価値にこだわらない風潮も感じる。

## 令和 7 年度

## 防災功労者内閣総理大臣表彰

令和 7 年度防災功労者内閣総理大臣表彰の表彰式が 9 月 17 日 (水)、総理官邸で行われ、本県から由利本荘市消防団が表彰を受けました。

この表彰は、災害時の防災活動の実施、平時における防災思想の普及や防災体制の整備で功績が顕著な団体又は個人を表彰するものです。

同消防団は、昨年 7 月 25 日からの大雨に際し、昼夜にわたる河川巡視や住民の避難誘導、人命救助等を行い、被害の軽減に多大な貢献をしたことが評価されました。





# 令和7年秋の叙勲・褒章 第45回危険業務従事者叙勲

令和7年秋の叙勲・褒章及び第45回危険業務従事者叙勲の受章者が11月3日に発令されました。

本県の消防関係では、叙勲22名、褒章2名、危険業務従事者叙勲で8名が受章されました。11月5日に秋田県正庁において、知事伝達式が行われました。  
受章者の皆様、誠におめでとうございます。



## 令和7年秋の叙勲

### ◆瑞宝単光章(22名)

元横手市横手消防団 分 団 長 高 橋 藤 七	元横手市雄物川消防団 分 団 長 佐 藤 芳 夫	元湯沢市消防団 副 団 長 伊 藤 一	元大仙市消防団 副 団 長 進 藤 文 隆	元美郷町消防団 分 団 長 高 橋 忠 美	元大仙市消防団 副 団 長 藤 谷 知 義	元秋田市消防団 分 団 長 利 部 敏	元大仙市消防団 副 団 長 鈴 木 和 夫	元大館市消防団 分 団 長 北 林 茂 政	元潟上市消防団 分 団 長 佐 藤 進	元秋田市消防団 分 団 長 鶴 田 一 成
----------------------------	-----------------------------	------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	--------------------------

## 令和7年秋の褒章

元潟上市消防団 分 団 長 菊 地 啓 一	元秋田市消防団 分 団 長 角 田 茂	元美郷町消防団 分 団 長 照 井 勇 一	元能代市消防団 分 団 長 原 田 美 徳	元大館市消防団 分 団 長 佐 々 木 正	元男鹿市消防団 分 団 長 佐 藤 定 久	元由利本荘市消防団 分 団 長 渡 辺 静 一	元羽後町消防団 分 団 長 藤 原 博	元大館市消防団 分 団 長 本 間 賢 一	元湯沢市消防団 分 団 長 榮 喜 養 一	元横手市山内消防団 分 団 長 佐 々 木 雄 一 郎	大潟村消防団 分 団 長 畑 瀬 正 道	大潟村消防団 副 分 団 長 田 口 幹 雄
--------------------------	------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------	------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------------	-------------------------	---------------------------

## 第45回危険業務従事者叙勲

### ◆瑞宝双光章(5名)

元横手市消防本部 消 防 監 大 石 義 孝	元秋田市消防本部 消 防 監 相 楽 裕	元湖東地区消防本部 消 防 司 令 長 菊 地 徹	元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消 防 監 千 葉 和 彦	元男鹿地区消防本部 消 防 司 令 長 古 仲 秀 公	元横手市消防本部 消 防 司 令 長 小 西 隆 悦	元にかほ市消防本部 消 防 司 令 櫻 山 克 義	元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消 防 司 令 長 阿 部 祐 作
---------------------------	-------------------------	------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--





選手と応援団の皆さん

## 第26回 全国女性消防操法大会 大仙市女性消防隊が 出場



激励交流会

第26回全国女性消防操法大会は10月28日(火)、横浜赤レンガ倉庫イベント広場横浜みなとみらい)において、44都道府県の代表44隊が出場し、軽可搬ポンプ操法による競技が行われました。

本県代表の大仙市女性消防隊は、前回の第25回大会(令和5年)に続く出場となりました。

地元消防団をはじめ、老松博行大仙市長など関係者が応援するなか大健闘しました。

大会名	開催年度	出場隊	成績
第18回	平成19年	大館市	準優勝(2位)
第19回	平成21年	秋田市	17位
第20回	平成23年	横手市平鹿	操法中止
第21回	平成25年	大仙市	26位
第22回	平成27年	大仙市	18位
第23回	平成29年	大仙市	28位
第24回	令和元年	秋田市	27位
第25回	令和5年	大仙市	29位
第26回	令和7年	大仙市	20位

第26回全国女性消防操法大会成績表				
順位	都道府県名	消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優勝	千葉県	柏市女性消防隊	49.29	90.0
準優勝	福岡県	筑後市女性消防隊	51.90	90.0
準優勝	東京都	八王子市消防団女性消防隊	50.20	89.0
優秀	山口県	和木町女性消防隊	51.25	88.0
優秀	熊本県	八代市本部女性消防隊	44.29	85.5
優秀	三重県	津市女性消防隊	46.28	85.0

■上位の成績



操 法 ③



操 法 ②



操 法 ①





競技が終わって

## 令和7年度

## 「防火防災に関する」

## 作文コンクール

令和7年度「防火防災に関する」

作文コンクール(生活協同組合 全日本消防人共済会主催)の審査が先頃行われ、本県から応募していた、上小阿仁村立上小阿仁中学校三年三浦清香さんの作品が佳作に選ばれました。

三浦さん、誠におめでとうございます。これからも防火防災に対する理解を深めて、立派な担い手になることを期待しております。

## 【コンクールの概要】

## ■目的

このコンクールは、地域防災のため

め日夜活動している消防団について、子供たちが感じていることを文章で表現することにより、地域と消防団との関わりを深め、自主的な防火防災の意識の高揚を図ると共に次世代の防災の担い手の育成を図ることを目的とします。

## ■応募資格

全国の中学生

## ■表彰等

①最優秀賞

1名

②優秀賞

2名

③佳作

若干名

## だれかのために

## 動くということとは

上小阿仁中学校三年

三浦清香

昨年のことが思い出される。記録的な豪雨により被害が相次いだ。私たちが住む秋田県では三年連続での被害となった。特に昨年の豪雨では、過去に例を見ないほどの被害だった。私の家も床下浸水の被害に遭った。この出来事は、この村に五十年以上も住んでいる祖父や祖母も初めての体験。とても不安な思いでいっぱいだったと今でも言う。しかし、誰かのために行動する人たちのおかげでその気持ちはすぐになくなったと言葉を継いだ。

私の父や祖父は、夜遅い時間でも外に出て行き私たちを守ろうと、様子を確認してくれていた。さらに地域の消防団に入っている父は十一時から深夜の二時ころまで土嚢を積むなどの作業を頑張っていた。このとき父は今後の被害を予想して、私たちと一緒にいくはずだった奈良への旅行に、自分が行かないことに決めたらしい。みんなで行くことをあんなに楽しみにしていたのに。けれども、誰かのために頑張る父の姿はともかくいいと思えた。

今改めて思い返し深く考えてみると、誰かのために動く、活動するということとは決して簡単なことではない。自分を父の立場に当てはめてみた。予定していた旅行をキャンセルしたこともさることながら、日頃の活動こそ大変さが伴う。自分の仕事があり、さらに消防団としての訓練があり、地域の中で受け入れられみんな活動できる環境作りなど細かな配慮まで怠ることはない。この村でも復旧・復興に向けたボランティア活動が行われた。父はその活動にも積極的に参加した。誰かのために、なんて素敵な言葉だろうか。

災害というものはいつどこで起きるかわからない、だからこそ、準備は大切というけれども、準備だけで大丈夫なのだろうか。災害が起きた

ときには、自分の命は自分で守れと言われている。学校の避難訓練でも毎回のようにならなければならない。しかし、それにも限界があるのではないか。

「自助」「共助」「公助」という言葉はよく耳にする。さらに、「互助」という考え方も新たに付け加えられている。「当事者の周囲にいる近しい人が、自分の発意により手を差し伸べる」とある。自分のことと同じように誰かのために動く、誰かのために活動する。自分の意見で。この考えこそが地域を守る。まさに消防団の基本理念ではないか。自助と共助の間にある互助。自分たちのことは、自分たちで守る。地域は地域で守る。

自分も誰かのために動きたいという気持ちがふつと湧き上がっている。昨今のテレビのニュースでは、消防団員のなり手が減少してきていると報じられている。父の後ろ姿を見、その意思を感じている私は、助けられるのではなく助ける側の一員になりたいと強く思っている。災害は避けて通ることができないからこそ、この気持ちをこれからもち続け、今できることに積極的に取り組み、いつかみんなと共に地域を守る一員になる。



高田 明さん



開 会 式

## 第30回 全国女性消防団員活性化長崎大会

Ⅱ 来年は北海道で開催 Ⅱ

第30回全国女性消防団員活性化長崎大会が、11月13日(木)、「来んね! 平和の街へ島々へ未来へ、長崎でつながる女性消防団」を大会テーマとして、「出島メッセ長崎」(長崎市)で開催され、全国から女性消防団員や消防関係者約2500名が参加しました。本県からは、女性消防団員2名が参加しました。

開会式後、5消防団がそれぞれの活動事例発表を行ったあと、同県平戸市出身でテレビショッピングの「ジャパネットたかた」社長を務めた高田明氏が「夢持ち続け日々精進」と題して講演を行いました。

その後、2消防団が日頃の活動で実践している防火防災啓発劇を発表し、最後に、日本消防協会秋本敏文会長がパネリストを務め、活動事例発表の女性消防団員とのパネルディスカッションを行いました。

会場には、全国各地の消防団展示ブースが設置され、活動事例を紹介しながら交流を深めていました。

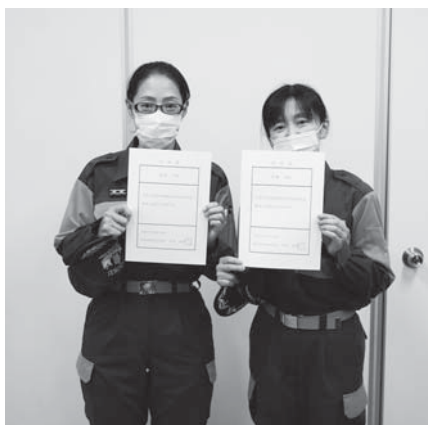
閉会式では、次期開催地の北海道に大会旗が引き継がれました。来年度は、令和8年9月25日、札幌市で開催されます。



展示ブース



防火防災啓発劇



左から阿部総代と佐藤副総代

横手市	横手市	横手市	仙北市	仙北市	秋田市	秋田市	秋田市	秋田市	秋田市	秋田市	男鹿市	男鹿市
団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員
山下	草薨	高沖	阿部	藤原	佐藤	澤田	福田	星村	菅原	伊藤	松山	伊藤
さつき	雅子	みちる	千晶	咲希	友紀	初香	あい子	容子	あゆみ	直子	月渚	るみ子

第15回女性消防団員教育は、10月18日(土)、19日(日)の2日間、秋田県消防学校で開催され、4消防団から13名が参加し、消防活動訓練(ロープ結索、地震体験、放水訓練等)、訓練礼式、救急訓練等を行いました。

### ■受講生名簿

## 第15回 女性消防団員教育

秋田県消防学校



## 令和 8 年消防出初式の開催予定

令和 7 年11月27日現在

市町村	期 日	観閲式会場	式典会場
鹿 角 市	1月 4日(日)	秋田銀行花輪支店前	文化の杜交流館 コモッセ
小 坂 町	1月 4日(日)	明治百年通り	小坂町交流センター セパーム
大 館 市	1月 4日(日)	大町ハチ公通り	ほくしか鹿鳴ホール
北 秋 田 市	1月 4日(日)	松葉町交差点	北秋田市文化会館
上小阿仁村	1月 4日(日)	健康増進トレーニング センター前	上小阿仁村開発センター
能 代 市	1月 5日(月)	能代市島町通り 二ツ井駅通り	能代市文化会館
藤 里 町	1月 4日(日)	藤里町役場庁舎前	藤里町総合開発センター
三 種 町	1月 4日(日)	三種町琴丘総合体育館 駐車場	三種町琴丘総合体育館
八 峰 町	1月 4日(日)	沢目駅前	八峰町文化交流センター ファガス
秋 田 市	1月 7日(水)	けやき通り	あきた芸術劇場 ミルハス
男 鹿 市	1月 5日(月)	男鹿市役所～オガーレ	男鹿市民文化会館
潟 上 市	1月 4日(日)	実施なし	潟上市市民センター かたりあん
五 城 目 町	1月 5日(月)	朝市駐車場	五城館
八 郎 潟 町	未定	未定	未定
井 川 町	1月 4日(日)	井川町農村環境改善センター前	井川町農村環境改善センター
大 潟 村	1月 6日(火)	実施なし	ホテルサンルーラル大潟
由利本荘市	1月12日(月)	由利本荘市役所前	由利本荘市文化交流館 カダーレ
に か ほ 市	1月10日(土)	実施なし	金浦体育館
大 仙 市	1月 5日(月)	大曲市民会館 第2駐車場	大曲市民会館
仙 北 市	1月10日(土)	市民会館	市民会館
美 郷 町	1月 4日(日)	総合体育館 リリオス前駐車場	美郷町公民館
横 手 市	1月 5日(月)	実施なし	横手市横手体育館
湯 沢 市	1月 5日(月)	実施なし	湯沢市文化会館
羽 後 町	1月 5日(月)	羽後町活性化センター	羽後町活性化センター
東 成 瀬 村	1月 4日(日)	東成瀬村民体育館	東成瀬村民体育館



トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営 業 種 目) { トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タ カ ギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

(営 業 種 目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検  
トーハツポンプ | キンバイホース  
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

## 支部情報アラカルト

## 横手市支部消防団員研修

を実施しました

11月15日(土)、横手市消防本部を会場に「横手市消防団員研修」を開催し、消防団員69名が参加しました。この研修は、消防団員の資質向上を図り、火災をはじめ各種災害への確に対応する消防団員を養成し、消防団の活性化を目的に毎年開催しています。

これまでは、入団3年以内の団員と機関員を対象にしましたが、今年度新たに、幹部団員向け指揮研修と機能別団員向けの教養研修を追加しました。

幹部向け指揮研修では、火災に対する基礎知識に加え、災害現場にお



ける相互の活動内容や注意点を改めて確認しました。特に、消防団は火災発生後、直近即時対応ができることが多く、常備消防隊到着後の情報提供や後方支援などの連携活動が迅速に行えるよう、指揮系統や現場指揮の流れを学びました。

また、機能別団員向け教養研修では、消防署職員の指導の下、小型ポンプの操作訓練を行いました。機能別団員は、基本団員として活動してきた団員が定年等による退団後に再入団しているため、スムーズに訓練している姿が見られました。

横手市支部としては、市民の生命、身体、財産の保護と被害の軽減に寄与できる消防団員を育成するため、今後もこのような機会を増やしていく予定です。



〔情報提供〕横手市支部

## 火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和 7 年		令和 6 年			同期比較	
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建 物	7	171	15	160	178	- 8	11
林 野	0	7	0	25	25	0	-18
車 輛	3	27	2	30	31	1	- 3
その他	2	51	1	111	115	1	-60
合 計	12	256	18	326	349	- 6	-70
死者数	0	15	2	22	28	- 2	- 7
負傷者数	1	48	4	66	71	- 3	-18

## (一財)秋田県消防協会役員異動

秋田県消防協会の役員に異動がありました。新体制は次のとおりです。

(令和 7 年 11 月 30 日付)

会 長	横手市消防団長
副会長	樋 渡 徹
副会長	由利本荘市消防団長
副会長	阿 部 一 彦
副会長	能代市消防団長
副会長	渡 邊 正 人
副会長	秋田市消防長
副会長	堀 井 正 人

モリタ消防ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

シバウラポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

株式会社  
株式会社

能代消防センター  
協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社  
防 災 事 業 部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号  
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311